

令和5年度 浮野小学校 学校努力点の推進について

1 研究主題

体を動かす楽しさを感じ、運動に親しもうとする児童の育成

～ 児童の運動に対する意欲を高める活動に重点を置いて ～

2 研究主題について

本年度「体を動かす楽しさを感じ、運動に親しもうとする児童の育成」をテーマにし、「もっと体を動かしたい!」、「運動って楽しい!」という児童の運動に対する意欲を高めることに重点を置いて授業実践を進めていく。

体を動かすことは、ストレスの解消や早寝早起きなどの生活習慣の改善にもつながっていく。運動に親しむ気持ちを育てていくことで、その後の生活をより充実させることもできるだろう。

『元気いっぱいなごやっ子通信』にもあったように、名古屋の児童の体力は全国と比較すると低い傾向にある。さらにその中でも、本校児童は低い値を示している。休み時間には、多くの児童が教室で過ごしており、「疲れるから外には出たくない」、「特にやりたい遊びがない」と、体を動かすことに対する抵抗感を抱いている。

このような児童の実態を踏まえ、今年度は、「チャレンジタイム(仮)」を合言葉に、「もっと体を動かしたい!」、「運動って楽しい!」と感じられるよう、児童の運動に対する意欲を高めることに重点を置いて授業実践を考えていきたい。

「児童の運動に対する意欲を高める活動」においては、休み時間でも取り組める運動を授業に取り入れる。そうすることで体を動かす楽しさを感じ、運動に親しもうとする児童に迫っていけると考える。

3 研究の内容

(1) 目指す児童の姿

児童の運動に対する意欲を高める活動によって、運動に対する意欲を高め、体を動かす楽しさを感じ、運動に親しもうとする児童。

(2) 手だて

○ 児童の運動に対する意欲を高めるための工夫

- ・ 単元に必要な技能につながる「遊び」を授業の導入に取り入れる

(3) 手だての検証

- 年間通して実践を行い、児童の発言や様子、ワークシートの記述の変容をみる。
- 児童の実態調査やアンケートを通して、実践前と実践後の変容をみる。